

文部科学省認可通信教育
(第4種 定形外郵便)
令和4年10月発行

放送大学滋賀学習センター

樹 滴

緑豊かな環境

真理のしたたり

第125号

〒520-2123

滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5

龍谷大学瀬田キャンパス4号館1階

TEL.077-545-0362

FAX.077-545-2096

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/shiga/>

目 次

「台湾：旧武徳殿を巡る小旅行」(滋賀学習センター所長 平井 肇)	1
「ドラマ・映画に出演した滋賀県」(滋賀学習センター客員教授 京樂真帆子)	2
「謝 辞」(教養学部 心理と教育コース 野村 克治)	3
卒業生のことば、卒業生・入学生の状況	4
セミナーのご案内	5
事務室からのお知らせ	7



台湾：旧武徳殿を巡る小旅行

滋賀学習センター所長 平井 肇

今から十数年前、台湾南部の港町・高雄に出張した時のことです。この日の公式行事が始まる前に、私はホテルの周りを散歩することにしました。たいていの場合、特に目的の場所もない散策ですが、この日は違いました。

下町の風情を楽しみながらしばらく歩くと、ガジュマルの大木の後ろに木造レンガ造りの和洋折衷風の建物が目に入りました。ここが、目的地の高雄武徳殿です。剣道の経験も無く、台湾の研究者でもない私ですが、この日の出来事をきっかけに、台湾を訪れた際には、暇を見つけてはこの地に残る旧武徳殿を訪ねて廻るようになりました。

ところで、みなさん、武徳殿について何かご存じですか。武徳殿は、明治時代の後期以降、大日本武徳会によって武術の振興を目的に日本中に建設されました。大日本武徳会とは、「・・・日本固有の武術を保存奨励し、武徳の涵養（かんよう）と国民の士気の振作に寄与することを目的に設立された民間団体」（『日本大百科全書』）です。第二次世界大戦の終結後、大日本武徳会は極めて政治的思想的な団体とみなされ、GHQ によって解散させられました。戦前、武徳殿は全国各地にありましたが、建物の老朽化や管理運営の問題もあり、現存するものは少なくなっています。（滋賀県では県体育文化館という名称で県庁横にありましたが、数年前に取り壊されました。）そんな武徳殿が、なぜ台湾に建設され今も残っているのでしょうか。

台湾は、日清戦争終結から第二次世界大戦終結までの 50 年間、日本の統治下にありました。日本は官民一体となって台湾統治を推進すべく、多くの人々が移民としてこの島に渡りました。その中で大日本武徳会は、行政や警察組織と密接な関係を持ちながら各地に支部を設立し、民間団体や企業などの支援を受けて武徳殿を建設したのです。そのためか、武徳殿の多くが町の中心部にあり、学校や警察の敷地内に建てられたものもありました。戦後、その多くが取り壊されましたが、現存するものもあります。

武徳殿がその歴史的役目を終えて、すでに 77 年が経っています。たとえその姿を残していても、そのひとつひとつがそれぞれ異なる変遷を経て今に至っているはずです。私は、この目で確かめ、建物が残されている経緯を知ることで、台湾の文化や社会、日本との関係をより深く理解できるきっかけになるのではと思います。旧武徳殿巡りを始めることにしました。

そこで、今回は、これまでに私が訪れた旧武徳殿のいくつかを簡単ですが紹介します。

<旧高雄武徳殿> 長らく放置されていましたが、2004 年に修復されました。私が訪れた時、剣道の道着姿の老若男女が日本語で「イチ～ニ～サン」とかけ声に合わせて素振りをしていました。指導者のお一人が、流ちょうな日本語でこの武徳殿の歴史や現在の活動について説明してくださいました。地元の剣道愛好家クラブが中心となって、管理運営されているそうです。

<旧台南武徳殿> 近くには孔子廟や日本時代の建物がいくつも残る、台南市の中心部にあります。日本の伝統的な社殿建築の様式で、私が訪れた中では一番規模が大きいものでした。現在は小学校の講堂としても使われているそうです。私が訪れた週末は、地元の剣道愛好家が稽古に励んでいました。



<旧台南武徳殿>

<旧大溪武徳殿> 現在、この施設は隣接する日本統治時代の建造物と共に改装され、地元の産業を紹介する博物館として利用されています。現在は、武道の稽古場としては使われていないようです。台湾北西部の山間部に位置する大溪は、清朝や日本統治時代の面影が残る『老街』と呼ばれ、郊外の風景にも癒やされる「インスタ映え」のするスポットでした。

台湾は、昔からいろいろな人がいろいろな事情でこの地に移り住んで築いてきた複合重層社会です。このことが、この島の人たちの柔軟で寛容な気質につながっているのではないかと感じます。ある意味、日本統治時代の負の遺産とも言える旧武徳殿が、一部とはいえ大切に保存されて多様な使い方をされているのも、このことと決して無縁でないような気がします。

私の旧武徳殿巡りの旅はコロナ禍で一時中断ですが、またいつか復活できればと願っています。

ドラマ・映画に出演した滋賀県

滋賀学習センター客員教授 京樂 真帆子

NHK のドラマ「カムカムエヴリバディ」(2021 年 11 月～2022 年 4 月)の中に、大阪の大和川を舞台とするシーンがあった。川の堤防で芝居をする俳優さんたちの背後に、見覚えのある形の山が見えた。滋賀県の三上山である。

また、NHK ドラマ「わけもん～長崎通訳異聞～」(2022 年 1 月放送)は、江戸時代の長崎を舞台とする時代劇であった。その長崎の海の向こうに、遙か近江の富士(三上山)が見えた。

こんな風に、思いもかけずに滋賀県の風景が画面に映ると、嬉しくなる。なお、いずれも、滋賀ロケーションオフィスが番組製作をアテンドしていて、ロケ地が滋賀県であることは公表されている。私が、意地悪く「アラ探し」をしているわけではない。

さて、京都・太秦で撮影された時代劇映画の中にも、滋賀県の風景は映し出されている。遠方にロケに行く時間と予算がない場合、例えば海に見立てることが出来る琵琶湖のある滋賀県は恰好のロケ地となった。カラー画面だとバレてしまうこともあるが、白黒のモノクロ映画だと、それと気付かれないし、そもそも、気付かれなくてかまわない。

そのおかげで、滋賀県のかつての風景が映画に記録されることになった。いくつかを紹介していこう。

まず、溝口健二『近松物語』(大映、1954 年)。モノクロ映画であるが、湖西の浮御堂が、それとして登場している。おさん(香川京子)と茂兵衛(長谷川一夫)が京都からの逃避行の末に琵琶湖で心中しようとするのであるが、浮御堂が実際に映ることで、現場が琵琶湖畔だと一目でわかる。が、残念ながら、夜の湖岸という設定で薄暗く、わずかな時間しか映らない。今の浮御堂の風景とさほど変わらないはずだが、それを確認する間もなく場面が移っていく。

次に、山内鉄也『祇園祭』(日本映画復興協会、1968 年)。ここに、大津の馬借が出て来る。室町幕府の妨害に屈服せずに祇園会を復興させる町衆を側面支援する存在として、三船敏郎扮する馬借衆が活躍する。馬借というと、坂本の馬借が有名だが、大津にもいたので時代考証の間違いではない。但し、この映画の企画者だった伊藤大輔は、本来は運送業者の馬借を西部劇のイメージで描こうとした。確かに、三船が馬上で長槍を振り回すシーンは、史実と違っていても見応えがあり、映画の中に活気をもたらしている。

さらに、主人公・町衆の新吉(萬屋(中村)錦之介)がこの馬借の本拠地に乗り込んでいくシーンがある。大津の外れにある馬借の家、との設定だが、琵琶湖の東側、野洲川河口でロケ撮影されたことが、残された資料からわかっている。確かに、背景の山は琵琶湖の東から西を見た時の山並みである。

ということを考える内に、新吉たちが葦の群生の中を歩いて行くシーンに目を奪われる。中世の大津がこんなに寂れた場所だと思われては困る、と言いたくもなるが、琵琶湖岸には、これほどまで葦がたくさん生えていたのかと感嘆させられる風景が画面に広がる。同様に、彦根市でロケがされた『山椒大夫』(溝口健二監督、大映、1954 年)でも、葦の群生の中で芝居が行われていた。今は、失われてしまった風景が、映画の中に記録されているのである。

最後に、新藤兼人『藪の中の黒猫』(近代映画協会、1968 年)。平安時代、源頼光(佐藤慶)とその部下・藪の中の銀時(中村吉右衛門)による化け猫退治の物語である。その銀時が馬駆けるシーンは、守山市の琵琶湖畔で撮影された。その遠景にうっすらと映っているのは、1964 年に完成した琵琶湖大橋である。モノクロの映画でもあり、一瞬でシーンが変わるので、映画館で鑑賞していたら、なかなか気付かないであろう。が、現代の我々は、DVD やブルーレイ、あるいはオンラインで映画を楽しみ、しかも、一旦停止をかけて画面をなめ回すように見る事が出来る。コンピューター処理で“映ってはいけないもの”を消す技術が無かった時代の映画だからこそ、滋賀県の風景が画面に残されているのだ。

これをミスだと決めつけるのではなく、滋賀県の風景が映画出演したのだと考える方がよっぽど楽しい。

謝 辞

教養学部 心理と教育コース
卒業生代表 野村 克治

新型コロナウイルスの影響が続きお亡くなりになられる方が多い困難なこの時期にかかわらず「卒業証書・学位記授与式」を厳粛に開催して頂きました放送大学滋賀学習センターの教職員の皆様に対し卒業生一同心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、単位認定試験も自宅で受験となり、郵送方式から web 受験方式に、面接授業も受講定員が減少し、不測の事態発生時は、web (zoom) での受講と大きく変わりましたが、これもやむを得ないと考えております。

私が放送大学に入学するきっかけは、第2の職場を65歳で退職し、今後どうするか考えていた時、ある金融機関で放送大学のパンフレットが目にとまり、第3の人生として入学を決意した次第です。当初は、決意したものの続けられるどうか不安もあり、科目履修生からスタートしました。その後、履修出来る見込みがたち2年目より全科履修生として始めました。受講科目は、今迄の職務に関係した「社会と産業コース」からスタートしましたが、自分の知識不足に気付き、体系的に勉強しようと決意して、勉強したい方向を決め科目群履修認証制度(エキスパート)を参考に、どのプランを修得するには何を勉強しなければならないかを考え科目を選択し受講してきました。

入学当初は、テレビやラジオが主体で放送時間に合わせて録画し、後日再生するか、滋賀学習センターの再視聴室に出向き視聴していましたが、現在は、オンライン授業が増加するとともに、自宅からパソコンで受講出来る様にして頂き感謝申し上げます。

入学当初は、科目履修生は、面接授業は受けられませんでした。その後、改善されたこと、また全科履修生になったことにより講師の先生方より直接受けられるようになり、毎学期楽しみにしていました。現在は少ない様ですが、フィールドワークで「北近江の戦国時代史」や「近江の城」等のほか、研修旅行で「近江の日野商人・八幡商人・湖東商人・高島商人の違いと特徴」等近江の歴史関係の授業に多く参加させて頂いたことは至福の時間でした。

地球温暖化による気温の上昇・強い台風の増加や降水の変化・水害の発生・海面の上昇等、異常が続き、より悪化することが予想されています。この為、二酸化炭素排出量の削減が急務です。放送大学は、規則はありますが、ある程度マイペースで勉強出来る最高の場所であり、次学期も「自然と環境コース」に継続入学し勉強を続けていきたいと思っております。

最後になりましたが、今日までご指導頂きました所長の平井先生はじめ諸先生方、および多方面で支えて頂きました職員の皆様に改めて厚く御礼申し上げますとともに、放送大学の益々発展を祈念いたしまして謝辞とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。



客員教員



野村 克治氏 謝辞



平井所長 式辞

2022年度 第1学期 卒業生のことば



2022年度第1学期に卒業される皆さんからメッセージをいただきました。

「卒業に思う」 自然と環境コース 小山一司

友人に誘われて入学しいつの間にか14年が過ぎた。興味のある科目を履修し卒業は考えていませんでした。定年退職を機に卒業を目標に再入学してなんとか卒業しました。サークル活動の仲間との出会いは楽しい思い出になりました。



「ようやく卒業式」 社会と産業コース 向井正子

2年半前に1回目の卒業をしました。その時はコロナで式はなくなり、本当に残念でした。これから半年お休みして、また再入学したいと思っていますが、今回は、1回目の卒業式のかわりと思って来させていただきました。再入学2年で卒業は物足りませんでした。

「卒業によせて」 心理と教育コース 野村克治

「心理と教育コース」を卒業させて頂きましたが、特に心理学では、「心」という難題と楽しさを一部分知ることができました。「認定心理士」には遠く及びませんが、人間の心や行動の原理を解明し人間理解を深める端緒になったのではないかと思います。

「卒業するにあたって」 心理と教育コース 鹿毛美栄子

私は心理学に興味を持ち選科履修生として2014年に入学しました。2017年に全科履修生になりました。その間仕事をしていましたので、両立は苦労しました。面接授業や試験の日に主人に送り迎えをしてもらって勉強しました。コロナ禍の時「機械オンチ」の私は大学事務の方々に何度も助けて頂き感謝しております。2014年から2022年まで8年間かかりましたが今から考えましたら継続してよかったなあ実感しています。ありがとうございます。

「卒業に寄せて」 生活と福祉コース 福田克己

還暦後は「よく学び・遊び・元気で生き活き」を指針とし学びの柱は「放送大学受講」に置き古希を迎えて4コース目の卒業大感激です。「生活と福祉」受講時、民生委員を委嘱依頼があり、受講を生かし年齢に合った活動と引き受け、指針に「…笑顔と社会に貢献!」を加え、今後も受講を基軸に民生委員活動で社会に貢献できればと思っています。

「卒業によせて」 社会と産業コース 吉本直之

私は、放送大学へ2001年に入学し、この度4回目の卒業を迎えましたが、特に印象に残るのは1回目の卒業です。「水環境問題」をテーマに卒業研究に取り組み、研究所や公共施設・役所の担当部門で調査をし、龍谷大学理工学部の研究室で実験分析した結果を卒業論文にまとめ、担当教諭の前で発表し評価いただきました。さらに、在学中は各種サークル活動に参加し、全くしがらみのない学友と親しく交流させていただき、豊かな学園生活を送ることができました。今回でもって最後の卒業としますが、今後もゆっくりながら自己研鑽に努めていきたいと思っています。

「卒業致しますが、再入学、致します」

心理と教育コース 治田彰子

学べる喜びとワクワク感を味わいながら、今に至ることが幸いです。この楽しい時間を卒業したくないなあ。と思っていたところへ、心理職の国家資格化が閣議決定されて資格取得に向けての学びの準備がなされ、いよいよ今からだと希望を持ち、教科の再編成に伴い再入学出来ることとなり感謝しております。

「4コース目を卒業するに際して」 情報コース 井上良一

定年で退職した年の秋に入学したと記憶する。入学の動機は極めて不純で、男は家でゴロゴロしてはいけなと思ったまで。入学してご厚誼をいただいた諸兄に御礼申し上げます。

「感謝」 心理と教育コース 中谷みどり

大学に行きたい、勉強したい、卒業したい、その思いが長くかかってしまったが生きる支えになっていました。今は胸が一杯です。希望する面接授業が受けられずに終わったことが残念です。ですが大切な貴重な体験をさせて頂き感謝の思いでいっぱいです。

2022年度 第1学期 卒業生、第2学期 入学者の状況

今年度、第1学期は15名の方が放送大学を卒業されました。卒業された15名中4名が再入学されて放送大学で勉学を継続されます。(内訳は右の表)

また、第2学期に滋賀学習センターへ入学された方は、9月末時点で76名です。

年代別にみると、19歳以下=6人、20代=16人、30代=18人、40代=23人、50代=11人、60代=3人、70代=3人、80代=1人となりました。

ちなみに、入学者の最高齢は85才で、平均年齢は39.8才でした。職種別では人数の多い順に、教員(18名)、会社員等(15名)、公務員・団体職員等(9名)、看護師(8名)などとなりました。

2022年度第2学期卒業生 <教養学部>

生活と福祉コース	2名	心理と教育コース	5名
社会と産業コース	4名	人間と文化コース	1名
自然と環境コース	1名	情報コース	2名
合 計		15名	



セミナー のご案内

所長・客員教員が開催する学びの場です。原則として滋賀学習センター所属の学生が参加できます。

以下の日程が変更になる場合は、滋賀学習センターウェブサイト及び掲示板でお知らせしますのでご注意ください。



スポーツ文化論セミナー【世界のスポーツや身体活動から学ぶ】

平井 肇 所長

現代社会におけるスポーツの社会・文化的な意義と役割について、比較文化論と地域研究の視点から分析・考察します。スポーツ好きがスポーツについて気軽に語り合う場です。

10月23日(日)10:15～11:45 11月27日(日)10:15～11:45

12月18日(日)10:15～11:45 1月 8日(日)10:15～11:45



仏教文化圏の功德観と積徳行セミナー【地域間比較研究の視点から学ぶ】

兼重 努 先生

功德を積む行為を積徳行といいます。東南アジアの上座仏教文化圏と東アジアの大乗仏教文化圏では共に積徳行が盛んですが、相違もあります。両文化圏の功德観と積徳行について地域間比較研究の視点から紹介します。

10月11日(火)10:15～11:45 10月18日(火)10:15～11:45

11月 1日(火)10:15～11:45 11月15日(火)10:15～11:45

11月29日(火)10:15～11:45 12月 6日(火)10:15～11:45

12月13日(火)10:15～11:45 1月10日(火)10:15～11:45



ボランティア研究セミナー【社会貢献活動をどう捉えるか？】

川中 大輔 先生

市民の社会貢献活動は今どのような変化を見せているか。社会貢献活動は取り組む個人や企業に何をもたらしているのか。こうした問いについて理論的／実践的な動向を踏まえつつ、講究していきたい。

10月 4日(火)15:15～16:45 11月 8日(火)15:15～16:45

12月13日(火)15:15～16:45 1月 6日(金)15:15～16:45



栄華物語を読むセミナー【女性の視点からみた平安時代史】

京楽 真帆子 先生

『栄華物語』は、平安時代約 200 年間の貴族社会の様子を、仮名を使って物語風に描いた歴史物語です。前半部分は、赤染衛門が執筆したと言われています。その物語を歴史学研究の立場から輪読していきましょう。

10月 5日(水)10:15～11:45 11月 2日(水)10:15～11:45

12月 7日(水)10:15～11:45



化学の基本から応用へセミナー【実験から学ぶ化学の基本と応用】

藤原 学 先生

化学の基本は「元素の周期表」ですが、これが出来上がるかなり前より化学の研究が盛んに行われ、いろいろな経験から知識が蓄積されてきました。いくつかの実験を通じて、化学の世界を楽しみましょう。

10月19日(水)13:30~15:00 11月16日(水)13:30~15:00

12月14日(水)13:30~15:00



ドイツ現代史セミナー【20世紀ドイツの歴史をたどる】

三ツ石 郁夫 先生

ドイツは20世紀において、帝政期とワイマール共和国、ナチ期や戦後分断国家などさまざまな時代を経験してきました。その歴史を政治と経済、思想を中心に振り返ります。講義と討論を織り交ぜて進めます。

10月18日(火)13:30~15:00 11月 8日(火)13:30~15:00

11月22日(火)13:30~15:00 12月 6日(火)13:30~15:00

12月20日(火)13:30~15:00 1月10日(火)13:30~15:00

【オンライン(Zoom)セミナー】



比較文化・地域研究セミナー【アジアの隣人と話そう】

平井 肇 所長

アジアやオセアニアの国々からオンラインでゲストを招き、それぞれの国の文化や生活について話し合って相互理解を深めます。今年度は、こちらの参加者にも積極的に情報を発信していただく予定です。

10月23日(日)13:30~15:00 11月27日(日)13:30~15:00

12月18日(日)13:30~15:00 1月 8日(日)13:30~15:00



心理療法の基本セミナー【心理療法を俯瞰する】

荻田 純久 先生

心理療法に関しては、過去においても現在においてもさまざまな立場、理論、技法などが存在します。心理療法の未来はどうなるでしょうか。本セミナーでは、心理療法の基本について考えていきたいと思います。

10月22日(土)13:30~15:00 11月26日(土)13:30~15:00

12月17日(土)13:30~15:00 1月 7日(土)13:30~15:00



は **Zoom** によるオンライン開講です。以下のいずれかの方法で参加できます。

- ① 自宅でPCやタブレットからZoomに接続する
- ② 滋賀学習センターの大型モニターで受講する(定員5名・PC不要)

詳しくは放送大学滋賀学習センターウェブサイトをご覧ください。

事務室 からの お知らせ

学生証・学割証・入構許可証の発行、インターネット配信、郵送による教材の貸出、図書・再視聴室の利用期間や図書・教材の貸出の方法、それぞれの手続きや分からないときの本部問い合わせ先などについてご案内します。

第 2 学期の窓口での手続きについて

■学生証の発行

- * 学生証の発行には、写真票を大学本部に提出し、システム WAKABA に登録されていることが必要です。大学本部での登録完了の後、学習センターで発行することになります。
 - * **学期開始後から単位認定試験開始までに余裕をもって、手続きを終えてください。**
 - * 有効期限を経過したり退学等により学籍を失ったりした場合は、学習センターに返還してください。
 - * 学籍が継続する場合は、期限切れの学生証を持参し、学生証の発行手続きをしてください。
- ※詳しくは、「学生生活の葉」学部：18 頁～19 頁、修士：24 頁～26 頁、博士：27 頁～28 頁を参照ください。

■入構許可証の発行

- * 車で来学される方は「**入構許可証**」が必要です。
- * 「利用の手引き」巻末にある「**入構許可申請書**」に必要事項をご記入いただき、窓口にご持参ください。即時「**入構許可証**」を発行します。
- * **2023 年 3 月 31 日まで有効です。**

学割証の発行について

全科履修生・修士全科生・博士全科生のみ利用できます。(選科履修生ならびに科目履修生は対象外です。)

- ① 自宅の最寄り駅から**学習センターに通学**するための回数券(定期券不可)を購入できます。
 - * JR 西日本(2 割引)瀬田まで購入可
 - * 京阪電車(2 割引)京阪山科・皇子山・京阪膳所・京阪石山まで購入可
 - * 上記以外の私鉄をご利用の場合は、窓口までお問い合わせください。
 - * 学割証の有効期限は、発行日から 1 ヶ月です。
- ② 自宅の最寄り駅から**他学習センターの面接授業を受講**するため、**大学本部に通学**するための普通乗車券(特急券不可)を購入できます。(片道 100 km を超える場合のみ)
 - <科目登録決定通知書など、日時・場所が記載されたものをご提示ください。>
 - * JR(2 割引) 例：瀬田→(米原経由)→海浜幕張
 - * 有効期限は、面接授業等の初日の 10 日前から終了日の 5 日後です。

※詳しくは、「学生生活の葉」学部：125 頁～127 頁、修士・博士：115 頁～116 頁を参照ください。

面接授業の追加登録について

- 空席発表：10 月 15 日(土)12:00
- 追加登録期間：【10 月～1 月開講の授業】 10 月 20 日(木)～科目ごとに定められた受付期日まで
- 対象者：令和 4 年度第 2 学期に学籍のある全ての全科履修生・選科履修生・科目履修生
- 追加登録方法：登録期間中、先着順で受け付けます。
 - * 詳しくは、「2022 年度第 2 学期 面接授業開設科目一覧」の 9 頁～15 頁を参照ください。
 - * 空席数については、システム WAKABA、または滋賀学習センター掲示板をご覧ください。電話による問い合わせもできます。
 - * 10 月 20 日(木) 15:00 以降は、システム WAKABA で空席状況をリアルタイムで確認することができます。(空席状況は、検索された時点のものです。追加登録を申請される際には、空席状況が変わっている場合もありますので、予めご了承ください。)

通信指導の提出と添削結果返送時期について

通信指導とは、放送（DVD 等の視聴によるものを含む）及び印刷教材により行われる授業において、一定の範囲で問題が出題され、その答案を提出して担当教員の添削指導を受けることです。この通信指導を提出しなかった場合、または評価の結果が不合格となった場合には単位認定試験の受験資格は得られません。

提出については、一部の科目を除き、「Web 通信指導」が利用できます。「Web 通信指導」で提出（送信）を行った場合は、郵送による提出は不要です。対象科目、受講方法等の詳細については、システム WAKABA「学内リンク」にある「Web 通信指導」をご覧ください。

<提出期限> 郵送：2022年11月15日(火)～11月29日(火)【本部必着】

Web：2022年11月8日(火)10:00～11月29日(火)17:00

※利用するパソコン及びネットワーク環境に起因するトラブルにより提出が間に合わなかった場合でも、未提出扱いとなりますので、余裕を持って提出（送信）してください。

<添削結果返送時期> 2022年12月末～2023年1月上旬

※(択一式)1月6日、(記述式)1月16日までに届かない場合は、大学本部に連絡してください。

※詳しくは、「学生生活の葉」学部：65頁～68頁、修士・博士：63頁～67頁を参照ください。

単位認定試験について

2022年度第2学期単位認定試験(2023年1月実施)については、引き続きWeb受験方式(一部科目※については郵送受験方式)にて実施します。単位認定試験実施日までに大学本部から郵送される資料には、試験中に使用が認められる物品等の重要事項が含まれますので必ず目を通してご確認ください。

1. 実施方法概要

◎ Web 受験方式

- 自宅等から、インターネットを通じて Web 単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。
- 1科目50分の制限時間があります。(一時停止不可、1回のみ受験可能)
- 科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」のいずれかの形式で出題されます。
 - ◆ 択一式問題 → 選択肢をクリックすることで解答します。
 - ◆ 記述式問題 → 解答記入欄に文字入力することで解答します。

◎ 郵送受験方式

- ※「正多面体と素数(21)」「(記述式)」、「日本美術史の近代とその外部(18)」「(記述式)」、「量子化学(19)」「(併用式)のみ
- 1月上旬ごろ大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。
- 試験時間の制限は行いません。

2. 試験日程

Web 受験方式(試験期間)：2023年1月17日(火)9:00～1月25日(水)17:00

郵送受験方式(提出期間)：2023年1月17日(火)～1月25日(水)《必着》

3. Web 単位認定試験体験版について(試験期間前)

Web 単位認定試験システムの体験版を公開しています。

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、単位認定試験期間までに、必ず体験版を操作しておいてください。

◆ 単位認定試験体験版 アクセス方法

- ①システム WAKABA にログイン ID・パスワードを入力してログインします。※注
- ②システム WAKABA の TOP 画面右側、「学内リンク」から「Web 単位認定試験」をクリックします。

※注 初回ログイン時の ID・パスワードは、入学許可書(圧着はがき)に記載されています。初回ログインの時は必ずパスワード変更を行ってください。初期パスワードのまま一定期間経過した方は、ログインできなくなっています。パスワードを忘れてしまった場合など、ログインできない方は、学習センターまでご連絡ください。

4. 自宅等での Web 受験が困難な方へ【要申請】

ご自宅にインターネット環境がない、またはパソコン操作が困難等の事情により Web 受験が困難な方は、事前に申請を行うことで、単位認定試験を学習センターで受験することができます。ただし、「Web 受験方式」の科目を学習センター等で受験する場合、以下のことにご注意ください。

- ◆学習センターで受験する場合「授業科目案内」及びシステム WAKABA に記載の試験日・時限に受験いただく必要があります。※「郵送受験方式」の科目については、パソコンは使用しないため、学習センターでの単位認定試験は実施しません。
- ◆「試験問題の閲覧」と「択一式の解答」は、学習センターのパソコンでご自身で行っていただきます。(記述式の解答のみ解答用紙で行います。)

■学習センター受験申請方法

学習センター等での単位認定試験受験を希望する方は、下記申請様式にご記入の上、申請期間内に下記宛先に郵送により申請してください。

- ・申請様式 学習センター受験申請書(印刷教材等に同封します※)
※印刷教材の発送がない方の場合「番組ガイド」等に同封します。
- ・申請期間 2022年10月1日(土)～11月24日(木)《必着》
- ・申請宛先 〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11 放送大学 学務部学生課 単位認定試験係 行

■Web 単位認定試験の操作体験会について

2022年12月上旬～2023年1月上旬にかけ、各学習センターで、Web 単位認定試験体験版を用いた操作体験会を開催します。学習センターで受験する場合でも、「試験問題の閲覧」「択一式の解答」に関するパソコン操作はご自身で行っていただきますので、受験予定の学習センターで開催される操作体験会に原則ご参加いただきますようお願いいたします。(前学期に参加済みの方も、操作等が不安な場合ご参加ください。)

学習センターごとの実施日時等詳細は、「学習センター受験申請書」を提出いただいた方に対し、本部より随時ご案内を送付いたします。

■図書・再視聴室の利用について

■利用内容： ○図書資料の閲覧 ○印刷教材の閲覧 ○放送教材の視聴

■利用時間： ○通常 9:15～17:45
○単位認定試験期間 9:00～18:45

■図書の閲覧： 図書資料は、書架により自由に取り出して閲覧できます。

■図書の貸出・返却

2019年4月から学習センタの図書貸出しは行っていません。貸出を希望する場合は、大学本部の附属図書館を利用ください。

※詳しくは、「学生生活の菜」学部(109頁)大学院(100頁)

もしくは附属図書館のホームページ(<https://lib.ouj.ac.jp/>)でご確認ください。

※学習センター閉所日や開所時間外での大学本部の附属図書館の図書資料の返却は、4号館1階玄関前に設置の返却ポストをご利用ください。開所中は「図書・再視聴室」へ返却してください。

■閉所日

*毎週月曜日・祝日

*年末年始 2022年12月29日(木)～2023年1月3日(火)

*臨時閉所日 2022年12月27日(火)、12月28日(水)、2023年1月4日(水)

図書室を活用しましょう!



■ロッカーおよびメッシュケースの利用

学習上必要とする教材以外の所持品(かばん等)は、図書・再視聴室へは

持ち込まないで、ロッカーを利用してください。なお、貴重品は必ず身に付けてください。ロッカーの利用は当日限りとし、無料です。(利用するには投入口に100円必要ですが、使用后100円は戻ります。)

また、カウンターにメッシュケースを置いてありますので、教材等の持ち運びにご利用ください。なお、メッシュケースの利用は当日限りとします。

放送教材 (DVD/CD) の室内視聴と放送教材の貸出について

放送教材は、室内視聴が可能です。(登録科目以外の放送教材も視聴できます。) 2020 年度以降(大学院は 2019 年度以降)の新規開設科目につきましては、放送教材 (DVD/CD) の配架は行いません。配架中の放送教材は閉講になるまで視聴できます。インターネット視聴端末では全科目の視聴ができます。

※放送教材の貸出は、現在登録している科目及び再試験科目の放送教材を郵送にて大学本部からご自宅に取り寄せることができます。往復の送料は、貸出希望者の負担になります。

※詳しくは「学生生活の葉」学部：32 頁～ 35 頁、大学院：44 頁～ 45 頁、「利用の手引き」11 頁～ 12 頁を熟読してください。

インターネット配信について

放送授業 (テレビ科目、ラジオ科目) は、パソコンやスマートフォンなどで開設期間中ならいつでも視聴することができます。ただし、インターネット配信はストリーミング配信ですのでダウンロードすることができず、視聴中は常にインターネット通信費がかかる場合があります。通信費のかからない Wi-Fi 環境等での視聴を推奨します。ラジオ科目をパソコンやスマートフォンなどで放送と同時に聴ける「radiko」(ラジコ) もご利用いただけます。詳しくは、<https://radiko.jp> をご覧ください。

※詳しくは、「学生生活の葉」学部：31 頁、修士・博士：43 頁を参照ください。

滋賀学習センターにおける無線 LAN の利用申請について

2018 年度からセンター内で、個人の持込 PC・スマートフォン・タブレット端末による無線 LAN 接続が可能となりました。無線 LAN の利用を希望される方は、必ずご本人が滋賀学習センター事務室へご来所のうえ、申請手続きを行ってください。申請用紙は滋賀学習センターのウェブサイトよりダウンロードするか、直接窓口に来てください。

※本学が指定する e-ラーニングのサイバーセキュリティ研修 (システム WAKABA 内右側メニュー「放送大学自己学習サイト」の「情報セキュリティ研修 (学生用)」を受講し、小テストに合格すると発行される「修了証」を提示の上、必要事項を記入した「無線 LAN 利用申請書」を所属学習センターの窓口へご提出ください。「修了証」の提示が無い場合は、申請を受付できません。

※詳しくは「学生生活の葉」学部：115 頁～ 116 頁、大学院：106 頁～ 107 頁を参照してください。

学習相談会について

所長および客員教員が学習相談に応じています。ご希望の方は・・・

- ① 事務室窓口横のラックにある「学習相談会申込書」に必要事項を記入し、事務室に提出してください。
- ② 原則、セミナー終了後の学習相談会での相談となりますが、それ以外での相談の場合は、日時等を調整後、ご連絡いたします。

※所長への学習相談の際は、随時受け付けていますので、お気軽に窓口までお申し出ください。

11月6日(日) 文化祭および講演会 (公開講座) の開催について

学友会主催の文化祭および文化祭講演会を下記のように開催します。

日時：2022 年 11 月 6 日 (日) 10:00～11:30

会場：龍谷大学瀬田キャンパス 4 号館 本会場：107 教室、オンライン視聴会場：講義室 1

演題：「ルール工業地域の歴史から見る現代世界」

講師：三ツ石 郁夫 滋賀大学名誉教授

定員：70 名

例年、学生の皆様の意見を参考に、文化祭講演会を開催されています。多くの学生の皆様が講演会や講師を囲んでの懇談会に参加され、盛会となることを期待しています。学友会、学生の皆さんよろしくお願ひします。

スケジュール



10 月		11 月		12 月	
日 曜	内 容	日 曜	内 容	日 曜	内 容
1 土	第2学期放送授業開始(～1/20) 2023年度大学院博士全専科・修士全専科入学者第一次 選考(筆記試験) 滋賀大学附属図書館利用申請受付開始(～10/20)	1 火	2022年度卒業研究報告書提出期限 【セ】兼重 10:15	1 木	
2 日		2 水	【セ】京樂 10:15	2 金	
3 月	閉所日	3 木	閉所日(文化の日)	3 土	面接授業
4 火	【セ】川中15:15	4 金		4 日	面接授業
5 水	第2学期オンライン授業開始(～2/28まで閲覧可能) 【セ】京樂10:15	5 土	2023年度大学院博士全専科入学者 第二次選考(面接試験)	5 月	閉所日
6 木		6 日	学友会(かいつぶり)文化祭	6 火	【セ】兼重 10:15 【セ】三ツ石 13:30
7 金	集中科目履修生(司書教諭) 単位認定試験課題提出期限	7 月	閉所日	7 水	【セ】京樂 10:15
8 土		8 火	第2学期通信指導提出期間 【Web】(～11/29) 【セ】三ツ石 13:30 【セ】川中 15:15	8 木	
9 日		9 水		9 金	
10 月	閉所日(スポーツの日)	10 木		10 土	面接授業
11 火	【セ】兼重 10:15	11 金		11 日	面接授業
12 水		12 土	面接授業 2023年度大学院修士全専科入学者第二次選考(面接試験)	12 月	閉所日
13 木		13 日	面接授業 2023年度大学院修士全専科入学者第二次選考(面接試験)	13 火	【セ】兼重 10:15 【セ】川中 15:15
14 金		14 月	閉所日	14 水	【セ】藤原 13:30
15 土	面接授業 第2学期面接授業空席発表	15 火	第2学期通信指導提出期間 【郵送】(～11/29) 【セ】兼重 10:15	15 木	
16 日	面接授業	16 水	【セ】藤原 13:30	16 金	2023年度大学院博士全専科・修士全専科入学者第二次 選考合格通知
17 月	閉所日	17 木		17 土	面接授業 【セ】荻田 13:30(オンライン) 
18 火	【セ】兼重 10:15 【セ】三ツ石 13:30	18 金		18 日	面接授業 【セ】平井 10:15 【セ】平井 13:30 
19 水	【セ】藤原 13:30	19 土	面接授業	19 月	閉所日
20 木	滋賀大学附属図書館利用申請締切 第2学期面接授業追加登録開始 (科目ごとに定められた追加登録受付期限日まで)	20 日	面接授業	20 火	【セ】三ツ石 13:30
21 金		21 月	閉所日	21 水	
22 土	面接授業 【セ】荻田 13:30 	22 火	【セ】三ツ石 13:30	22 木	
23 日	面接授業 【セ】平井 10:15 【セ】平井 13:30 	23 水	閉所日(勤労感謝の日)	23 金	
24 月	閉所日	24 木		24 土	面接授業
25 火		25 金		25 日	面接授業
26 水		26 土	面接授業 【セ】荻田 13:30 	26 月	閉所日
27 木		27 日	面接授業 【セ】平井 10:15 【セ】平井 13:30 	27 火	臨時閉所日(冬季)
28 金	2023年度大学院博士全専科・修士全専科入学者 第一次選考可否通知	28 月	閉所日	28 水	臨時閉所日(冬季)
29 土	面接授業	29 火	第2学期通信指導提出期限【Web、郵送】 【セ】兼重 10:15	29 木	閉所日 年末閉所日(～12/31)
30 日	面接授業	30 水		30 金	閉所日
31 月	閉所日			31 土	閉所日